**＜論文要旨＞**

**新規商品・サービスのマーケティングの為の普及現象の構造化**

**難波　和秀**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　高知工科大学工学研究科　博士後期課程

消費者行動のモデルを用いた普及のシミュレーションを用いて普及現象の構造を分析した．得られたシミュレーション結果を分析し、初期普及層において“消費者行動の不均一性”と“情報ネットワークの不均一性”と“解決される課題の大きさ”がほぼ同等の値となっている設定の場合、特異な普及現象は発生しないが、設定によってはキャズムが再現することが分かった．キャズム分析の結果、情報ネットワークの影響に対して、消費者行動の不均一性の影響が大きい場合、普及初期に初期普及層が期待値を超える割合で存在し、この層が普及初期を牽引し、このような構造でキャズムが発生していることがシミュレーション分析から分かった．本研究の限界は、限定された消費者を対象にしたモデル化を実施し、パラメータの合わせ込みを実施し、傾向性を中心に分析している点である．